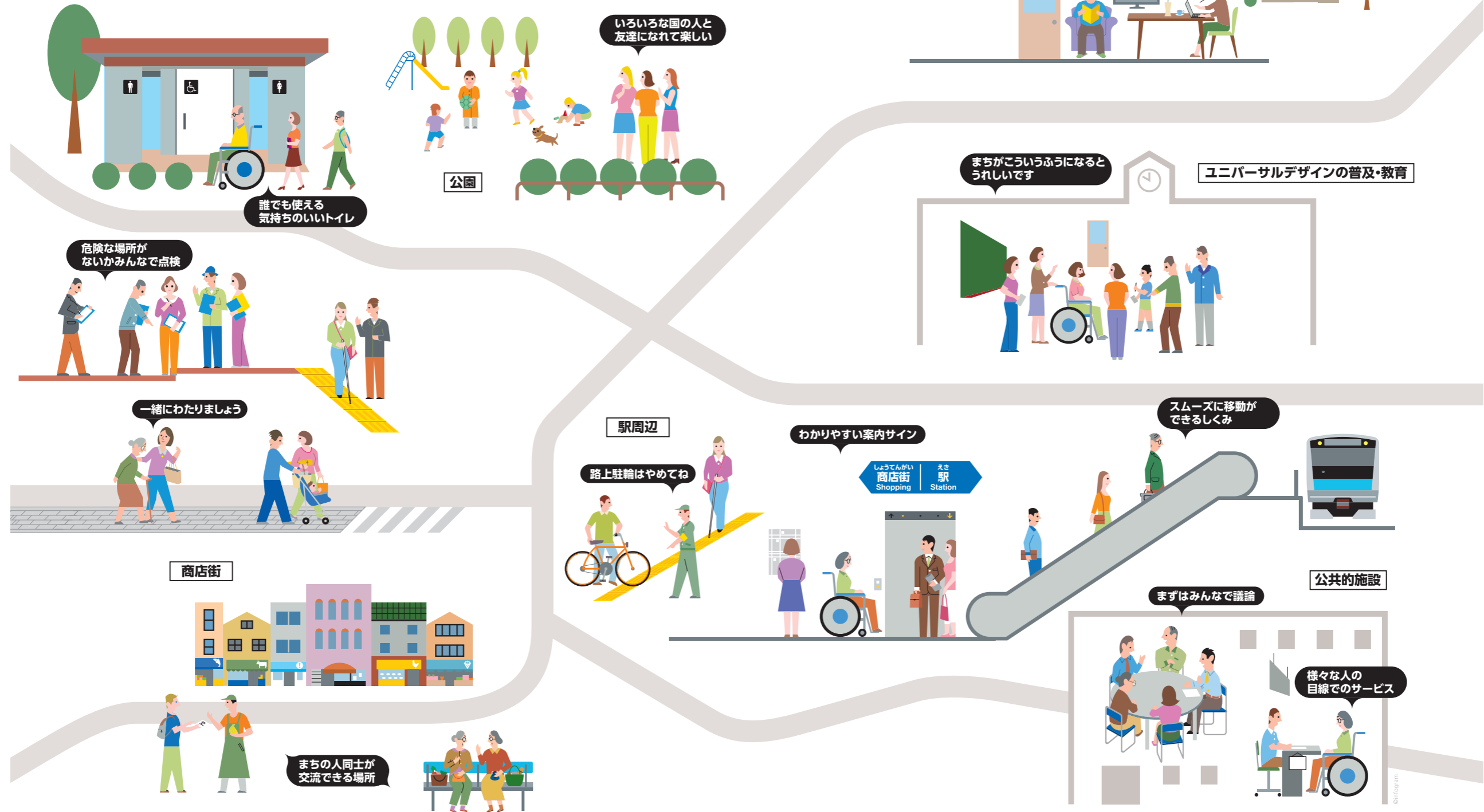


将来のまちの姿のイメージ図

ここに示す絵は、区民等や事業者が区と協働して、大田区ユニバーサルデザインのまちづくりに取り組み、「やさしさが広がりだれもが安心して快適にすごせるまちおおた」(p.26)に近づいたときのイメージを描いたものです。



まちの中でのイメージ

公園は、管理が行き届き、子どもたちが安心して遊び、子育て中の人も、楽しくおしゃべりをしています。また、公園のトイレは、誰でも使いやすく、道路は、危険な場所がないかみんなで点検・評価し、常に誰もが安全に通行することができるよう整えられています。まちの中では、互いを思いやる心が育まれており、困っている人に自然に声をかけ合うことが当たり前になっています。商店街では、誰もが親しくことばを交わし、サインも見やすく整っています。また、誰もが楽しく安心して快適に買い物ができ、買い物の合間に一休みすることができる環境(ベンチ等)が整っています。駅周辺等では、目的地まで誰でも支障なく移動ができる歩行者優先の経路が整備されているので、誰もが安心して歩くことができます。

日々の暮らしの中でのイメージ

多くの人に発信・提供されるお知らせ等は、誰にでもわかりやすく、興味を持てるようつくりられています。また、誰もがユニバーサルデザインについて学べる様々な機会が用意され、他人を思いやる心が育まれています。さらに、区民も事業者も区も一緒になってよりよいまちづくりについて熱心に話し合っています。公共的施設では、誰にとってもわかりやすく、親切に対応する窓口が用意されています。